

# 山形県立山添高等学校校歌

## (第二校歌)

作詞 真壁 仁  
作曲 齋藤 次郎

♩ = 96 いきいきと力強く

さくほくの かぜあれて のにさけ—び

やてんのほしは こおるとも ふゆの とぼりを—

きさいて みよよみがえる しんせいの はる

のいぶきは ちに—みてず

あうた え う—た—え わかきひの かんげきを

ひとつの せだいに むす—ぶもの

一、朔北の風荒れて野にさけび

夜天の星は凍るとも

冬のとぼりをひきさいて

見よ よみがえる新生の

春のいぶきは地にみたり

ああ うたえ うたえ

若き日の感激を

ひとつの世代に結ぶもの

二、生産の鉄にぎる手は黒く

したたる汗にぬるるとも

胸に理想の火はもえて

いま学習の意志かたく

高き真理をもとめゆく

ああ うたえ うたえ

若き日の情熱を

たがやす大地にそそぐもの

三、鳥海の嶺はれて庄内の

沃野をこめる地の幸は

黄金の波にそよぐとき

行け 人生の岸ちかく

明日の生命の培いに

ああ うたえ うたえ

若き日の栄光を

かがやく未来にかけるもの

昭和二十九年五月制定